事例No.	2118
公表年度	R4
団体の属性	指定都市
団体名	静岡県静岡市

事例区分	DX

タグ	・（行政改革）業務の効率化 ・ICT ・関係人口

事例種類	土木・インフラ

事例内容・タイトル

３次元測量によるデジタルアーカイブ化

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

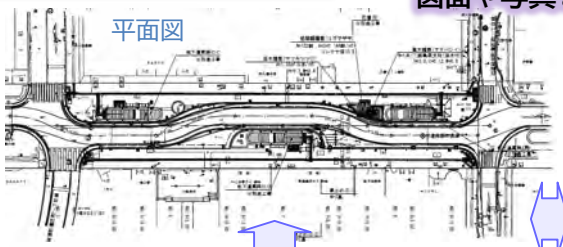
138 3次元測量によるデジタルアーカイブ化【静岡県静岡市】

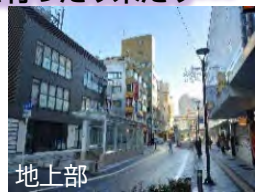
事業の概要

○ 老朽化した都市アセットのあり方を議論する場において点群データを活用したデジタル空間を活用することにより、議論を活性化し利害関係者との合意形成を容易にするとともに、データをオープン化することでまちづくりへの関わりの機会を創出するため、３次元測量によるデジタルアーカイブ化に取り組んでいる。

これまでの市民説明

プロジェクトを把握するためには図面や写真を行ったり来たり・・・







図面や写真のとおり、●●●には△△△の様な課題があります。
行政担当者

専門的でよくわからない・・。もう少しわかりやすくしてほしい・・。
市民

点群データを使って市民に説明すると・・・

街を3次元でシームレスに再現！議論が深まり、参加型まちづくりへ。





＜参考＞令和２年度
静岡駅前の市道呉服町通線240mの点群レーザ測量（8000㎡）を実施

なるほど！そんな課題があるんですか・・。では商店街としても今後の●●●を皆で議論しなければなりませんね。
市民

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



地上・地下空間を有する中心市街地の老朽化に伴い、地元の方と今後のまちの在り方を議論する必要が生じました。これまでは図面や写真を用いていましたが、理解を深め、同じレベルで課題を共有するためにまちの点群データを取得しました。

（静岡市）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



データの取得に際し、国土交通省都市局所管の都市構造再編集中支援事業で実施しています。



事業の近況を教えてください。



令和２年度に点群データを取得し、これまで庁内での勉強会の場で活用したり、商店街と議論する際に活用してきました。

「地上と地下の位置関係が一目でわかる」といった驚きの声や、現場の確認をデジタル空間で直ちに行うことができることから、議論の活性化が起こっています。

令和４年度はまちづくりや都市アセットの老朽化をテーマに大学と連携して点群データ活用の事例を構築することや、民間企業からはメタバース空間を作り街づくりへ活用していく提案を受けています。

こうした取り組みでまちづくりへの関係人口を増やし、多くの方と街の老朽化の課題を共有し、合意形成の円滑化を進めていきたいと考えております。

★担当：静岡市都市局都市計画部 市街地整備課★

令和3年度事業費：ー千円 （令和2年度事業費 3,135千円）